

2025年8月7日

各 位

会 社 名 株式会社ツカダ・グローバルホールディング
 代表者名 代表取締役社長 塚田 正之
 (コード：2418 東証スタンダード)
 問合せ先 財務経理部長 山崎 誠広
 (TEL：03-5464-0081)
 (URL <https://www.tsukada-global.holdings>)

2025年12月期 中間期及び通期の連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2025年5月9日に公表しました2025年12月期（2025年1月1日～2025年12月31日）の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2025年12月期中間期の連結業績予想数値の修正（2025年1月1日～2025年6月30日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想(A)	33,778	3,086	2,527	1,596	33円47銭
今回修正予想(B)	33,748	3,871	2,312	4,385	92円44銭
増減額(B)－(A)	△30	784	△214	2,788	
増減率(%)	△0.1	25.4	△8.5	174.7	
(ご参考)前期中間期実績 (2024年12月期中間期実績)	28,549	2,330	3,292	3,037	63円68銭

2. 2025年12月期通期の連結業績予想数値の修正（2025年1月1日～2025年12月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	70,954	8,800	7,869	5,268	110円45銭
今回修正予想(B)	70,954	8,800	6,870	7,208	152円11銭
増減額(B)－(A)	－	－	△999	1,939	
増減率(%)	－	－	△12.7	36.8	
(ご参考)前期実績 (2024年12月期実績)	63,545	7,408	7,726	5,147	107円92銭

3. 修正理由

当中間期の売上高は概ね前回予想通りとなりましたが、婚礼事業及びホテル事業における婚礼施行単価の緩やかな回復、婚礼コンテンツの内製化の推進、全社を挙げたコストダウン施策等の効果及びホテル宿泊単価・稼働率が堅調に推移したこと等により営業利益は増加する見込みであります。また、営業外費用において、急激な為替変動の影響により為替差損が968百万円の計上となったことから経常利益は減少し、特別利益においては、「W Hotel Dallas Victory」の運営会社であるVictory Hotel Dunhill HN Investors LLC及びその子会社Victory Dunhill Hotel Mezz LLC、Victory Dunhill Hotel HN LLCの出資持分を追加取得したことによる段階取得に係る差益が1,259百万円及び負ののれん発生益が1,695百万円となったことにより、親会社株主に帰属する中間純利益は大幅に増加する見込みであります。

通期連結業績予想につきましては、昨今の猛暑が下期業績に与える影響を測ることが困難なため売上高及び営業利益は前回予測を据え置き、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、当中間期の予想を反映したことにより変動しております。

(注) 上記業績予想につきましては、本日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合は、速やかに開示する予定であります。

以上